

「第8回 長良川河口堰の更なる弾力的な運用に関する モニタリング部会」を開催します。

長良川の水質保全のために、一時的に長良川河口堰からの流量を増大させる長良川河口堰の更なる弾力的な運用に関する操作（フラッシュ操作）について、平成29年度以降実施したフラッシュ操作に関するモニタリング結果を報告し、令和6年度以降の更なる弾力的な運用に関し、意見を伺う「第8回 長良川河口堰の更なる弾力的な運用に関するモニタリング部会」を開催します。

本部会の日時及び会場等については以下のとおりです。

1. 開催日時及び場所

- ・ 日時 令和6年6月25日（火）
10:00～12:00（終了予定）
- ・ 場所 AP名古屋 会議室L
名古屋市中村区名駅4-10-25 名駅 IMAI ビル7階 ※別紙1参照

2. 添付資料 別紙2

「長良川河口堰の更なる弾力的な運用に関するモニタリング部会について」

3. その他 本検討会は公開で行います。

- ・ 取材の受付は9:30から開始します。取材を希望される方は、事前に別添の申込書を6月21日（金）15時までに電子メールにてお申込みください。
- ・ ビデオ・カメラ等の撮影は冒頭の挨拶までとさせていただきます。
- ・ 検討会は議事の進行状況により終了時刻は変わることがあります。予めご了承ください。
- ・ 会議内容は、別紙2を参照ください。

4. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ 桑名市政記者クラブ

5. 問合せ先 独立行政法人水資源機構 中部支社

ダム事業課長 ^{つかもと}塚本 ^{まもる}守 TEL (052) 231-7541

長良川河口堰

副所長 ^{たけざわ}竹澤 ^{ひでし}秀史 TEL (0594) 42-5012

国土交通省中部地方整備局 河川部河川管理課

課長補佐 ^{もりした}森下 ^{しんたろう}慎太郎 TEL (052) 953-8155

(別紙1)

会場案内図

第8回 長良川河口堰の更なる弾力的な運用に関するモニタリング部会

○開催日時：令和6年6月25日（火） 10:00~12:00（予定）

○開催場所：AP名古屋 会議室L

名古屋市中村区名駅4-10-2 名駅 IMAI ビル

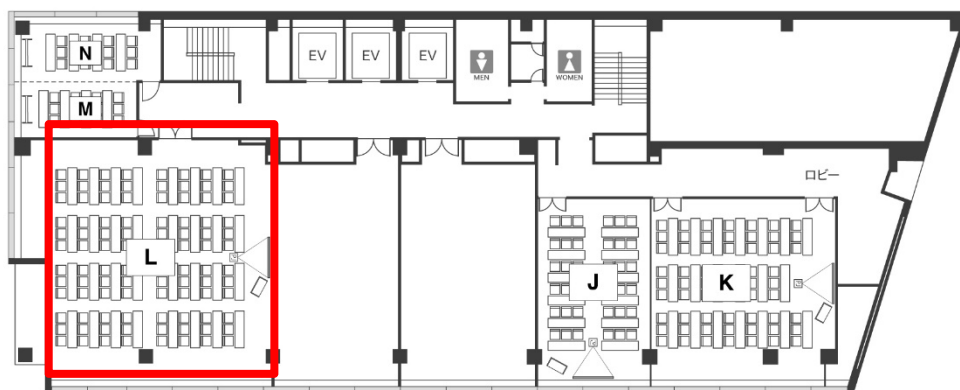
○アクセス：JR線 名古屋駅より徒歩5分

名鉄線・近鉄線 名古屋駅より徒歩2分



AP名古屋 外観

AP名古屋 位置図



会場位置図 (AP名古屋 7階)

(別紙2)

長良川河口堰の更なる弾力的な運用に関するモニタリング部会について

○設置目的

長良川河口堰の更なる弾力的な運用に関するモニタリング部会（以下「モニタリング部会」という）は、平成23年1月24日に開催された「中部地方ダム等管理フォローアップ委員会」において、「長良川河口堰の更なる弾力的な運用にあたり、モニタリング部会を設け、その部会において、モニタリング計画や検証を検討していくこと」とのご意見をいただき設置したものです。

○長良川河口堰の更なる弾力的な運用に関するモニタリング部会 委員名簿

氏名	専門分野	所属
松尾 直規（部会長）	河川水質・底質	中部大学 名誉教授
石田 典子	浮遊生物	元 名古屋女子大学 教授
木村 妙子	底生動物、河川環境	三重大学 教授
辻本 哲郎	河川、移動河床	名古屋大学 名誉教授
藤田 裕一郎	河川水理	岐阜大学 名誉教授

(※敬称略 委員については、五十音順)

【参考】

○長良川河口堰の更なる弾力的な運用（フラッシュ操作）について

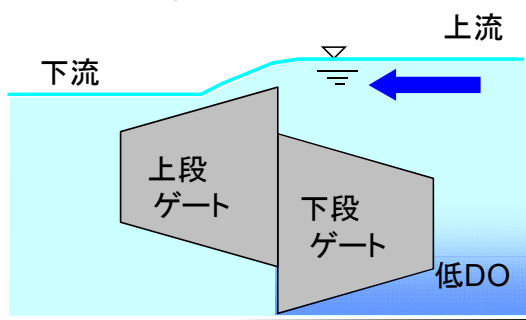
水質保全のため、一時的に堰からの流下量を増大させる操作です。

○フラッシュ操作（アンダーフラッシュ）

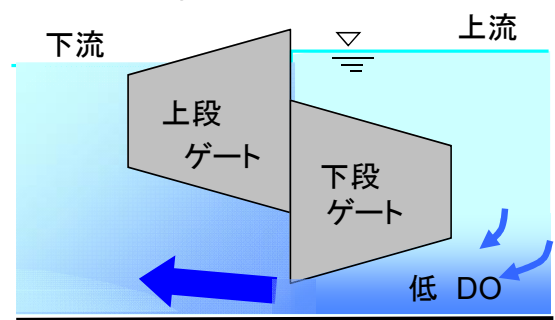
塩分が侵入しない範囲内で、ゲートの下からフラッシュ放流を行うもので、河口堰上流の底層にある溶存酸素（DO）量の少ない河川水に流動を生じさせて、底層の溶存酸素量の低下を防ぎます。

【イメージ図】

フラッシュ操作前



フラッシュ操作時（アンダーフラッシュ）



別添

取材申し込みメールアドレス

水資源機構【chubu_water@water.go.jp】

第8回 長良川河口堰の更なる弾力的な運用に関するモニタリング部会

取材申込書

下記に示す内容について記載の上、メールで申し込みください。

《申し込み期限：令和6年6月21日（金）15：00まで》

貴社名	
ご連絡先	
ご氏名	
当日連絡とれる 連絡先（携帯番号）	
メールアドレス	
取材人員	人